

名 称		東北品質工学研究会	
代 表	<ul style="list-style-type: none"> • 会長 植 英規 (福島工業高等専門学校) • 副会長 武田 布千雄 (リコーテクノロジーズ(株)) 	 	
顧 問 幹 事 役 員	<ul style="list-style-type: none"> • 顧問 小野元久 • 幹事 森富也、坂川義満、滝田祐一、鏡雅人、竹花末起一、大久保克俊 	植 会長	小野 顧問
会 員	<ul style="list-style-type: none"> • 64名(2018年6月現在) • 会員の所属団体・・・福島高専、リコーテクノロジーズ(株)、(株)ケーヒン、坂川品質相談所、東北パイオニア(株)、TDK(株)、(株)仙台ニコン など 		
設 立	<ul style="list-style-type: none"> • 1991年 	沿革 <ul style="list-style-type: none"> • 1991年 設立 • 2005年 機能性評価祭り開始 • 2014年 タグチメソッド体験教室 in 山形 開始 • 2015年 タグチメソッドフェスタ 開始 	
所 在 地 (活動場所)	<ul style="list-style-type: none"> • 宮城県仙台市で定例会を毎月開催 リコージャパン株式会社 仙台五橋事業所 工藤電機株式会社 研究開発センター 		
H P	<ul style="list-style-type: none"> • http://www.t-qe.net/ 		
連 絡 先	<ul style="list-style-type: none"> • 事務局：福島工業高等専門学校 • 担当： 植 英規 (電気電子システム工学科) • 電話： 0246-46-0795 • Mail： uehide@fukushima-nct.ac.jp 		

名 称	東北品質工学研究会	
研究会設立の目的	品質工学の研究、推進、普及を目的にしています。 品質工学を理解する上での疑問、品質工学を適用する際に発生する課題などを、会員相互の英知をもって解決にあたっています。	
主な活動イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会 月1回 ・ タグチメソッドフェスタ（仙台） 2018年10月5日 ・ タグチメソッド体験教室 in 山形 2018年7月20日（山形品質工学研究会主催） ・ タグチメソッド体験教室 in 秋田 2018年9月14日 	
活動概要	<p>1. 定例会</p> <p>毎月一回、宮城県仙台市にて実施具体的な課題によって議論・検討</p> <p>➤ 定例会の議事録は、品質工学誌に掲載されます。詳細な議論内容は会員専用議事録として保管され、会員は自由にアクセスできます。</p> <p>2. 各種イベントによる品質工学の普及</p> <p>➤ 機能性評価祭りからタグチメソッドフェスタへ。</p> <p>➤ 東北地方各地での体験教室（現在は山形，秋田）の実施。</p>	
※入会に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北品質工学研究会 TQE HP (http://www.t-qe.net) より Mail : info@t-qe.net 	

名 称		山形品質工学研究会	
代 表	<ul style="list-style-type: none"> ・会長 齋藤 誠 ・副会長 	 	
顧問 幹事 役 員	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問 小野 元久 ・幹事 鏡 雅人、鈴木 元 	齋藤 会長	小野 顧問
会 員	<ul style="list-style-type: none"> ・16名(2018年6月現在) ・会員の所属団体・・・山形県工業技術センター、東北パティファ、山形大学、など 		
設 立	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年5月11日 		
所在地 (活動場所)	<ul style="list-style-type: none"> ・〒990-2473 山形市松栄2丁目2-1 山形県工業技術センター 		
H P	<ul style="list-style-type: none"> ・http://tqe.sakura.ne.jp/y-qe/ 		
連絡先	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局：山形品質工学研究会 ・担当：鏡 雅人 ・電話： ・Mail： tqe_y@yahoo.co.jp 		
		沿革 <ul style="list-style-type: none"> ・2014年より毎年1回。TQEの活動として「タグチメソッド体験教室」を開催。2017年よりTQE-Yの主権に変更。 ・2016年山形県内へのQE普及を目的とし、定例会活動を開始 ・2016年5月発足 ・2016年5月11日第1回の定例会を、山形県工業技術センターで開催 ・2018年6月現在 活動継続中 	

名 称	山形品質工学研究会	
会の主旨	東北品質工学研究会(通称：TQE)へ参加が難しい状況にある山形県内のTQE会員に対し、品質工学の研修、研究の場を提供する。同時に、TQE会員外の品質工学活用への窓口となる。	
主な活動イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会 年12回 ・ タグチメソッド体験教室in山形 毎年7月 	 <p>ワークライフバランス改善のための 無料 タグチメソッド in山形 体験教室 =市場での使われ方を考慮した評価=</p>
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会 書籍の輪講 2016年：基礎から学ぶ品質工学 2017年：入門MTシステム 2018年： // ・ 担当者が選択論文の輪講 (各月持ち回りの担当者がJ-Stageなどから論文を選択) パラメータ設計実習(模型自動車) 	
※入会に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの「入退会のご案内」より専用書式をダウンロード後、必要事項を記入して頂き、下記メールへ送付して頂く。 ・ Mail： tqe-y@yahoo.co.jp 	

名 称

東北品質工学研究会・山形品質工学研究会

タグチメソッドフェスタ（仙台）



口頭＋ポスター形式による事例紹介。
事例の内容は、身近な対象に対するテーマや、業種を想定した（機械加工など）テーマなど幅広く選定。なるべく分かりやすく伝えることに注力した発表とする。

名 称

東北品質工学研究会・山形品質工学研究会

タグチメソッドフェスタ（仙台）



タグチメソッド・フェスタ2017の内容

〈初級ワークショップ〉

- ・ 機能性評価体験教室
身近なテーマで機能性評価を体験します

〈中級ワークショップ〉

- ・ 失敗しないタグチメソッドの実践
誤差因子の抽出にチャレンジしてみましよう

ワークショップや参加者が楽しみながらタグチメソッド（品質工学）に触れることができるフェスタ企画を準備。初級者から中級者までを想定して、参加したくなるような企画を目指す。

名 称

東北品質工学研究会・山形品質工学研究会

タグチメソッド体験教室 in 山形・秋田



はかりの機能性評価を体験
(アナログ vs デジタル)

タグチメソッドフェスタよりもさらに初級者をターゲットとした体験教室。東北地方での品質工学のさらなる普及のために、まずは品質工学を知ってもらうことを目指す。

名 称

東北品質工学研究会・山形品質工学研究会

著書紹介

基礎から学ぶ品質工学（日本規格協会）

編集・執筆

- ・小野元久（宮城教育大学名誉教授，TQE顧問，TQE-Y顧問）

執筆

- ・齋藤 誠（ピタゴラス，TQE-Y会長）
- ・塩沢 潤一（クオリティクリエイト株式会社，TQE会員）
- ・手島 昌一（アングルトライ株式会社）
- ・細川 哲夫（株式会社リコー，TQE会員）
- ・宮城 善一（明治大学）

TQE: 東北品質工学研究会

TQE-Y: 山形品質工学研究会

名 称

東北品質工学研究会・山形品質工学研究会

「品質工学の実践と推進における地方研究会の役割に関する考察」
発表ダイジェスト①

6月27日（水）10:30～11:45 研究会における推進1

品質工学の実践と推進における地方研究会の役割に関する考察

○ 植 英規, 小野 元久, 齋藤 誠, 武田 布千雄, 森 富也,
坂川 義満, 滝田 祐一, 鏡 雅人, 大久保 克俊

発表概要（抜粋）

品質工学に関係する地方研究会は全国各地に存在するが、地域における産業構造などを含め、それぞれの地方研究会が置かれている環境は大きく異なっており一義的にその役割やあり方を決定することは困難であると考えられる。

本報告では、これまでに実施してきた東北品質工学研究会の各種の取り組みについて概説するとともに、地方における品質工学の実践と推進における研究会の役割について考察する。

名 称 東北品質工学研究会・山形品質工学研究会

「品質工学の実践と推進における地方研究会の役割に関する考察」
発表ダイジェスト②

背景と目的：

品質工学の実践の場 → 所属企業等の近隣地域の地方研究会

東北地方における品質工学の実践と推進にTQEが果たすべき役割と課題について考察する。

実施事項：

現状確認のためのアンケート（定例会参加率の高い会員向け）を実施

- 事例提供（相談）をした目的と成果
- 定例会へ参加することの利点
- 定例会へ参加できない場合の理由
- 今後の定例会に必要なこと

これらに関する
選択式 & 記述式の
アンケート

名 称 東北品質工学研究会・山形品質工学研究会

「品質工学の実践と推進における地方研究会の役割に関する考察」
発表ダイジェスト③

TQE定例会の現状把握のためのアンケート結果（例）

分類	内容
事例相談の目的と成果	事例相談をした参加者の多くは品質工学に関するアドバイスを得ることを目的としており、多くの場合でその目的は達成できている。
定例会へ参加する利点	品質工学に関する知識や情報収集が第一であるが、二次的には他分野の技術情報の収集や人的ネットワーク構築の効果も実感している。
定例会へ参加できない場合の理由	業務の多忙さがもっとも大きい。
今後の定例会に必要なこと	議論される事例の数を増やすことが第一であり、その他勉強会の開催や他学会も含めた情報共有が挙げられる。

名 称

東北品質工学研究会・山形品質工学研究会

「品質工学の実践と推進における地方研究会の役割に関する考察」
発表ダイジェスト④

TQE 活動の成果：

- タグチメソッド・フェスタ，山形や秋田の体験教室を通じて，地域企業の方々に対して，品質工学に取り組む機会を提供。
- 東北地方への品質工学の普及に貢献。
- 地域企業の技術者にとって品質工学を通じた人的ネットワークを構築。

今後の課題：

- 定例研究会の活性化
 - 会員企業への負担軽減
 - 参加しやすい環境を作るためのwebの活用 など